

## AIScope3.5 簡易マニュアル

AIScope3.5 は Windows7, 8.1, 10 専用ソフトです。

### ファイルの開き方

1. ソフトを立ち上げます。
2. 可視化したいデータファイルをドラッグ&ドロップする

### 基本マウス操作

- ・基本操作はマウスとキーボードです。
- ・マウス操作の代わりにタッチパル操作も可能です。
- ・画面の中央からドラッグすると上下左右に平行移動します。(対象物体の中央ではありません)。
- ・画面の中央以外からドラッグすると回転します。
- ・ホイールスクロールにて拡大縮小します。

### 基本キーボード操作

- ・矢印キーを押すと回転します。
- ・ページダウン／アップキーにより拡大縮小します。
- ・x キーを押すと一つ次のフレームに進みます。ここでのフレームとは時系列で並んだデータにおいてある時刻のデータを意味します。
- ・z キーを押すと一つ前のフレームに進みます。
- ・shift+x キーを押すと最後のフレームまで動画の様に連続再生します。
- ・shift+z キーを押すと最初のフレームまで巻き戻し再生します。
- ・フレームの進み幅は「メニュー」→「動画」→「フレームスキップ」で指定できます。
- ・ウィンドウの端をドラッグすることで画面サイズを変更できます。

### 粒子表示の切り替え

- ・粒子の表示方法をポリゴン形式とポイントスプライト形式で切り替えることができます。「メニュー」→「原子分子」→「粒子表示」から選んでください。
- ・ポリゴン形式の場合にはポリゴン枚数を増やすことで粒子の見た目の滑らかさを変更できます。setting.ini の[VISUAL]項目内の AtomPoly の数値が経度方向のポリゴン枚数に対応します。

## 画像の出力

- ・「メニュー」→「出力」→「BMP 出力」を選ぶことで BMP 画像を出力することができます。
- ・「メニュー」→「動画」→「出力」→「ビットマップ連番出力」を選ぶことで、現在のフレームから最後のフレームまでを連番ファイル名の BMP 画像として出力することができます。
- ・ここで出力した連番ファイルを利用すれば、フリーソフト等で動画が作れます。
- ・「ビットマップ連番出力」におけるフレームの進み幅も上述の「フレームスキップ」での設定に従います。一般の動画では 24 コマの画像が 1 秒間に相当しますので、それに応じてフレームスキップで間引くことが有効です。

## 断面表示モード

- ・「メニュー」→「表示」→「表示断面」→「中央へ移動」を選ぶと「断面表示モード」に移行します。
- ・現バージョンで表示できるのは視線方向に垂直な断面です。
- ・「断面表示モード」の場合は w キー、および、q キーで断面を手前・奥に移動できます。
- ・「メニュー」→「表示」→「表示断面」→「リセット」を選ぶと「断面表示モード」を終了します。

## その他

- ・「メニュー」→「表示」→「射影」にて正射影と透視射影を切り替えられます。
- ・背景色など上記以外の設定値は設定ファイル”setting.ini”を編集し、アプリケーションを再起動することで変更できます。設定ファイルは「メニュー」→「ヘルプ」→「設定ファイルを開く」を選ぶことで開くことも可能です。各種設定項目に関しては以下の AIScope の配布サイトにてご確認ください：

<http://www-fps.nifs.ac.jp/ito/software/aiscope/>

- ・対応ファイル形式は粒子データ、フィールドデータ、軌跡データ、モンテカルロ計算用と様々です。各種対応ファイルのフォーマットに関しては同梱のディレクトリ「対応ファイル仕様書」の中の資料をご覧ください。